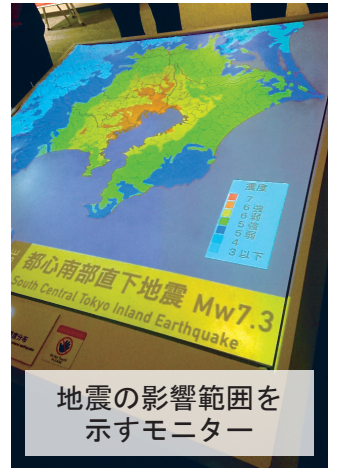


ぎかいだより



タブレット端末を使って研修

そなエリア東京
(東京臨海広域防災公園) を視察



地震の影響範囲を示すモニター



防災用品の展示



身近なものを使った防災用品の説明



起震装置で地震動を体験

令和2年 第1回定例会

2月20日～3月13日



第1回定例会

令和2年度各会計当初予算を議決	…P 2
議会だより編集委員が選ぶ注目事業	…P 3
令和元年度各会計補正予算を議決	…P 4
審議結果	…P 6
常任委員会審査報告	…P 7
一般質問(会派代表、個人)	…P 9
議会の話題	…P15

令和2年5月15日発行

発行：栃木県下野市議会

編集：議会だより編集委員会

ホームページ：<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

E-mail：gikai@city.shimotsuke.lg.jp

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

下野市 市議会



令和2年第1回定例会は、2月20日から3月13日までの23日間の会期で開催されました。

市長提案（追加議案含む）により、同意2件、報告2件、令和元年度補正予算6件、令和2年度予算8件、条例の制定等11件の計29件が提出されました。また、条例の制定案と国等の関係機関への意見書案の計2件が議員発議により提出されました。

一般質問では、3人の会派代表質問のほか、7人の議員が質問を行い、市の対応や考え方をいただきました。

令和2年度各会計当初予算を議決

税金の使い方が決まりました

予算編成のテーマは「下野市 成長と次世代へつなぐバランス予算」です。

令和2年度から「第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が始まります。これは人口急減・超高齢化という大きな課題に対し、市が一体になって取り組み、下野市の特徴を活かした持続的な社会を目指すものです。

第一期の総合戦略で確実に積み上げてきたまちづくりを活かし、さらに発展させます（成長）。また、「第四次下野市行政改革大綱・実施計画」も初年度となります。行政組織の効率化と経費節減により健全財政を保ちます（次世代へつなぐ）。予算規模は270億1,000万円です。前年度と比較して、1億9,000万円（0.7%）減少していますが、270億円を超える積極型予算となっています。

主要事業について

●第二次総合計画策定事業 937万5,000円

令和3年度からの後期基本計画を策定。

●南河内義務教育学校整備 16億6,830万2,000円

令和4年度の開校に向けて、校舎・体育館・給食室などを整備。

●グリムの森施設整備 1億7,944万3,000円

屋根、天井、空調などを改修。

●個別の2歳児歯科検診 160万1,000円

集団検診から個別検診に変更。かかりつけの歯科医を持つことにつなげる。

●「下野市新聞の日」新聞を楽しむ体験事業 60万円

新聞を教材に児童・生徒の学力向上を図る。

●スマートIC整備事業 2億840万8,000円

用地買収、移転補償、ネクスコ東日本への負担金など。

●天平の丘公園再整備 709万5,000円

整備期間は5年間。植栽見直し、駐車場拡張等のインフラ整備、売店・飲食店設置など。「四季を通して利用者が訪れる公園への再生」が目標。令和2年度は整備計画策定。

●道の駅しもつけ改修と駐車場拡張整備 1億377万6,000円

オープン10年目を迎え、老朽化した施設のリニューアルを行う。冷凍・冷蔵庫入れ替え、店内レイアウト変更など。また、駐車場不足解消のため建物東側に駐車場を増設する。

●石橋多目的広場整備 1億1,347万5,000円

石橋庁舎跡地にイベント・芝生広場を整備し、市民の交流や賑わいづくりにつなげる。また、防災トイレを設置し、防災機能も持たせる。

■令和2年度各会計予算

(単位：千円、%)

会 計 名	予 算 額	前年度との比較		
		増 減	比 率	
一般会計	270億1,000万0	▲1億9,000万0	▲0.7	
特別会計	国民健康保険	52億9,433万8	▲2億1,001万7	▲3.8
	後期高齢者医療	6億7,372万1	2,672万2	4.1
	介護保険	46億 681万3	2億6,538万3	6.1
	石橋駅周辺土地地区画整理事業	964万5	2万7	0.3
	仁良川地区土地地区画整理事業	4億5,420万7	968万4	2.2
企業会計	水道事業	16億2,933万9	▲3,834万5	▲2.3
	下水道事業	33億7,675万5	9,237万7	2.8
総 計	430億5,481万8	▲4,416万9	▲0.1	

👁️ 議会だより編集委員が選ぶ

注目事業

市民活動センター整備事業

184万6,000円

下野市をもっと住みやすい街にしたい、市民の自主的な社会活動を支援するため、組織の育成とそれを担う人材づくりが重要になります。その環境作りを推進するため設置します。令和4年オープン予定です。

結婚新生活支援事業補助金

450万円

少子化対策の補助金で、新婚世帯に対して結婚に伴う生活にかかる家賃や引っ越しに要する費用などを補助する事業です。対象世帯は夫婦共に婚姻時の年齢が34歳以下で、夫婦の合計所得が340万円未満、補助の上限額は1世帯あたり30万円です。



公園施設維持管理事業

2億5,876万7,000円

都市公園をはじめとする各種公園は、子どもの遊び場や地域の交流の場です。利用者が安全に安心して快適に利用することができるよう、施設や樹木等を適切に管理し、事故を未然に防ぎます。



公民連携推進事業(シモツケ大学など)

541万4,000円

石橋多目的広場と石橋複合施設を利用し、地域の賑わいや新たなコミュニティづくり、地域の課題解決に向け、人材を育成することを目的とした事業です。初年度は、広場の芝張りやイス作りのDIYなどのワークショップを予定しています。

都市交通マスタープラン策定事業

1,043万9,000円

都市交通実態調査に基づき、交通実態の分析や都市圏の都市交通需要予測を行い、交通計画を策定します。

景観計画策定事業

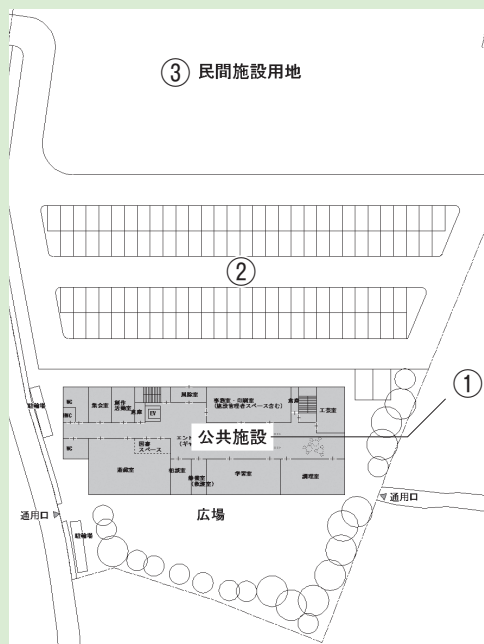
981万5,000円

平成31年3月に景観形成団体の認定を受け、良好な景観の形成を目的とした景観計画及び景観条例を策定します。

石橋複合施設整備事業

4,244万7,000円

石橋総合病院跡地の約9,000㎡に、①複合施設(公民館、児童館など) ②駐車場 ③民間施設を作ります(それぞれ約3,000㎡)。令和4年10月ごろオープン予定です。



施設の配置イメージ



■教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、佐間田 香 氏(小金井五丁目)を任命することに同意しました。

■公平委員会委員の選任

任期満了に伴い、小菅 拓郎 氏(宇都宮市)の再任に同意しました。

令和元年度各会計補正予算を議決

【一般会計補正予算】

小中学校内の情報通信ネットワーク環境整備事業を計上

一般会計は、歳入・歳出それぞれ3億453万5,000円を追加し、予算総額を286億9,179万6,000円としました。歳出の主なものとしては、市内小学校、中学校のアクセスポイント増設等、既存のネットワーク整備やタブレット等の端末充電保管庫の購入のために、情報通信ネットワーク環境整備事業費として小学校で1億6,732万円、中学校で1億1,451万円を計上しました。

■令和元年度各会計補正予算

(単位：千円)

会 計 名		補 正 額	補正後の予算額
一般会計	(第7号)	▲5億2,580万6	283億8,726万1
	(第8号)	3億 453万5	286億9,179万6
特別会計	国民健康保険(第3号)	122万2	55億7,475万8
	介護保険(第3号)	2,161万3	45億 578万7

※()は補正予算号数



■令和元年度水道事業会計補正予算(第1号)

(単位：千円)

区 分		補 正 額	補正後の予算額
資本的収支	収 入	▲1,800万0	1億8,850万0

条例その他

議決した条例や契約等の内容です。

国民健康保険税条例の一部改正

基礎課税額の賦課限度額が「58万円」から「61万円」に改正されました。

水道事業給水条例の一部改正

料金等債権の時効による消滅が「2年間」から「5年間」に延長されました。

都市公園条例の一部改正

国分寺運動公園のクライミングウォールが撤去されたため施設使用料の規定から削除されました。

体育施設条例の一部改正

旧国分寺西小学校体育館使用料全面1時間300円をアリーナ1時間300円、ボルダリングウォール個人1時間300円 団体1時間1,500円になりました。(団体利用は10人以上)

保健福祉センター条例の一部改正

下野市ふれあい館のトレーニング機器使用料が削除されました。

市営住宅管理条例の一部改正

延滞家賃の利息が「年5分」から「法定利率」に改正されました。

総括質疑

市長から提案された議案等について、疑問点等を問います。

学童保育事業所運営費補助金 (令和2年度一般会計予算)

問 学童保育事業所運営費補助金2,689万2,000円について、民間の学童保育事業への補助金であるとの説明であったが、その事業概要を伺う。

答 市内の民間学童保育事業所のうち、下野市の児童の受入れと国や市の基準に沿って運営している事業者に対し、担い手の確保及び支援員の質の向上を図ることを目的に補助を行う。

強い農業・担い手づくり総合支援交付金 (令和2年度一般会計予算)

問 交付金事業1億7,950万円の具体的な内容を伺う。

答 従来の機械、施設導入に係る支援であり、地域担い手育成支援タイプが1,950万円、産地基幹施設等支援タイプが1億6,000万円である。

地域おこし協力隊事業 (令和2年度一般会計予算)

問 将来、何人まで増員するのか。また、平成31年度から活動が始まっているが、活動の実績と評価を伺う。

答 令和2年度は2名増員し、計5名となる。公民連携推進事業、石橋駅西口地区における地域の賑わいづくりや新たなコミュニティを創出するための事業を担当する。現在の3名の隊員の実績は、ご当地アニメを活用したシティプロモーション事業や、市内全域でのまちづくりイベント、自ら企画したワークショップ等の開催、FMゆうがおにおいては、市の情報発信のため関係各課との調整から放送までを担当している。1年目だが、積極的に市民との関係づくりに力を入れ、地域に溶け込んでいる。2年目の事業に向け、期待通りの活動ができたと考えている。

議員発議

議員が条例の制定や改正等について、議案を提出することです。

【発議第1号】下野市かんぴょう条例の制定

【提出者】岡本鉄男

【賛成者】松本賢一、大島昌弘

下野市のかんぴょうは生産量全国1位であり、本市を代表する重要な作物です。かんぴょうの生産振興及び消費拡大については、これまで常任委員会で調査研究を行ってきました。その後、会派の中でさらに慎重に調査研究を重ね、また、議員全員で生産者・JA・流通業者との意見交換を通して様々な課題を得ることができました。これらの課題を具体的な市の施策として全市的に取り組むことを目的として、「下野市かんぴょう条例」を制定するものです。

全会一致で
可決



提出者：岡本鉄男 議員

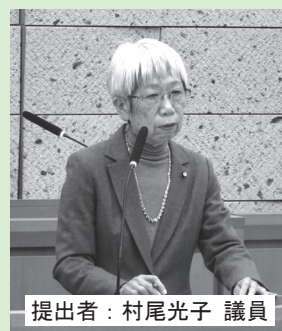
【発議第2号】「自家増殖を原則禁止とする種苗法改正の取りやめを求める意見書(案)」の提出

【提出者】村尾光子

【賛成者】磯辺香代、高橋芳市、中村節子

第201回国会(1月20日招集)で、種苗法改正案が3月3日提出されました。現在の種苗法では原則として登録品種の自家増殖(タネ取り、接ぎ木、挿し芽など)が農家に認められてきました。改正案では「許諾制」となり、自家増殖は原則禁止となります。農業者の権利を制限する種苗法改正の取りやめを求めるものです。

賛成少数で
否決



提出者：村尾光子 議員

発議の審議結果

議案等に対する各議員の賛否の状況です。

議案等番号	付議事件	結果	坂村哲也	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	奥田勉	中村節子	大島昌弘	高橋芳市	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	磯辺香代	松本賢一	岡本鉄男	村尾光子
発議1号	下野市かんぴょう条例の制定について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
発議2号	「自家増殖を原則禁止とする種苗法改正の取りやめを求める意見書(案)」の提出について	否決	●	●	欠	●	●	●	●	○	●	○	●	●	-	○	●	●	○

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 (議長は表決に加わらない)

第1回定例会の審議結果

議案等に対する各議員の賛否の状況です。

議案等番号	付議事件	結果	坂村哲也	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	奥田勉	中村節子	大島昌弘	高橋芳市	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	磯辺香代	松本賢一	岡本鉄男	村尾光子
同意1号	下野市教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
同意2号	下野市公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案1号	令和元年度下野市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案2号	令和元年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案3号	令和元年度下野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案4号	令和元年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案5号	令和元年度下野市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案6号	令和2年度下野市一般会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案7号	令和2年度下野市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案8号	令和2年度下野市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案9号	令和2年度下野市介護保険特別会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案10号	令和2年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案11号	令和2年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案12号	令和2年度下野市水道事業会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案13号	令和2年度下野市下水道事業会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案14号	地方自治法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案15号	下野市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案16号	下野市印鑑条例の一部改正について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案17号	下野市保健福祉センター条例の一部改正について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案18号	下野市営住宅管理条例の一部改正について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案19号	下野市水道事業給水条例の一部改正について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案20号	下野市体育施設条例の一部改正について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案21号	下野市都市公園条例の一部改正について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案22号	工事変更請負契約の締結について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案23号	市道路線の認定について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
追加議案	議案24号	令和元年度下野市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	議案25号	工事変更請負契約の締結について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 (議長は表決に加わらない)

第1回定例会 会期日程

- | | | |
|--|----------|--|
| <p>2月20日 本会議【開会】
(市長の施政方針、議案等の説明、一部表決)</p> <p>21日 本会議 (令和2年度予算案の説明)</p> <p>25日 本会議 (会派代表質問、一般質問)</p> <p>26日 本会議 (一般質問)</p> <p>27日 本会議 (議案の質疑、委員会付託)</p> <p>28日 総務常任委員会
(現地調査、付託案件審査)</p> | <p>⋮</p> | <p>3月3・4日 教育福祉常任委員会 (現地調査、付託案件審査)</p> <p>5・6日 経済建設常任委員会 (現地調査、付託案件審査)</p> <p>13日 本会議【閉会】
(委員長報告、質疑、表決、委員会行政視察調査報告)</p> <p>※今定例会の傍聴者数 21名(延べ)</p> |
|--|----------|--|

常任委員会 査報 審査報告

定例会で委員会付託された議案等について、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

総務

公共交通広域ネットワーク事業 (2年度一般会計予算)

問

ゆうがおバス運行の壬生町と上三川町からの負担金1,710万6,000円は全体事業費の何%か。

答

壬生町が約32%、上三川町が約16%であり、2町の負担は約48%である。残りの約52%が本市の負担となるが、事業費の2分の1は、国の地方創生交付金の活用を予定している。

総務

電光掲示板撤去工事費 (2年度一般会計予算)

問

工事の内容を伺う。

答

石橋高校東側の県道上、国分寺小学校北側の県道上、自治医大駅から東に向かって新4号国道手前の県道上の3ヶ所に設置してあるが、部品の在庫がなく修繕不可能であることや、目に留まりにくいことから撤去することとした。



電光掲示板(石橋地区)

総務

工事変更請負契約の締結

問

国分寺庁舎解体に関し、事前に図面や現地確認のうえ設計を行っているのに、このような変更が出るのはなぜか。

答

当初設計にはなかった内部壁のアスベスト含有塗料除去工事と、庁舎土間部分の土砂の搬出量が想定以上であったため、増工増額となった。

経済建設

6次産業化支援事業(ゆうがおパーク活性化支援)(2年度一般会計予算)

問

物販等にも力を入れるべきではないか。

答

名称は6次産業化支援になっているが、内容は中小企業診断士に委託し、6次産業化の他にも経営診断や店づくりの計画作成などの支援を行うものである。

経済建設

農地中間管理機構関連農地整備事業 (2年度一般会計予算)

問

関係者から事業が進んでいないとの話があるが、現状はどうなっているのか。

答

令和2年度には調査計画の本申請を行い、令和3年度には調査計画に入れるよう準備を進めている。

経済建設

天平の丘公園周辺管理事業 (2年度一般会計予算)

問

天平の丘公園再整備基本計画策定支援業務と都市再生整備計画策定支援業務の目的と内容について伺う。

答

歴史的風致維持向上計画では、天平の丘公園周辺が国分寺跡と国分尼寺跡により区域指定されたことで、社会資本総合交付金の対象事業となった。この交付金を受けるために、必要となった計画である。



天平の丘公園内に新設された大型遊具

教育
福祉

地域生活拠点等事業 (2年度一般会計予算)

問

事業開始の経緯と内容を伺う。

答

第5期障がい者福祉計画(しもつけしハートフルプラン)で令和2年度までに整備する。介護者の不在、急病などの緊急時に対応するため、平日の夜間、土日祝日の24時間の電話相談の委託料60万円と一時的な短期入所の扶助費1名分20万3,000円を計上した。

教育
福祉

新型インフルエンザ対策事業 (2年度一般会計予算)

問

新型インフルエンザ対策事業について伺う。

答

備蓄品として防護服550着、マスク3万枚、特殊マスク(N95マスク)1,000枚、医薬材料費として手指消毒剤150本分を計上した。

教育
福祉

教育研究振興事業 (2年度一般会計予算)

問

地域連携事業(自治医大地域感染予防事業、いのちの教育事業)について伺う。

答

自治医大等の県内医療機関の医師、薬剤師、看護師が各学校に派遣され、小学3年生と中学1年生を対象に、正しい手洗いやマスクの着用等の指導をしている。養護教諭も授業に立ち会い、正しい手洗いを学んでおり、ウイルス感染予防の効果を得ている。



地域連携事業の授業風景

常任委員会での議案審査に先立ち、現地調査を行いました。

総務常任委員会



市民活動センター予定箇所
(現：生涯学習情報センター)

経済建設常任委員会



薬師寺・柴ほ場整備

教育福祉常任委員会



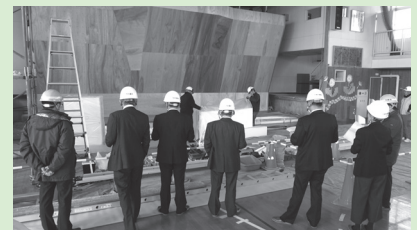
グリムの館



旧国分寺西小学校



蟹川堰



旧国分寺西小学校体育館



旧国分寺庁舎跡地



天平の丘公園



南河内中学校

一般質問は議会ホームページで動画を公開しています。

市政を問う

一般質問

第1回定例会では、3つの会派の代表者による会派代表質問のほか、7名の議員が市政に対し質問しました。
質問と答弁の内容を要約して掲載します。



清明会

大島昌弘 議員

【今回の質問】

1. 令和2年度予算編成方針とその特徴
2. 栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15(いちご)戦略」をふまえた本市の方針及び取り組み

問1 新年度予算における投資的
事業の特徴を伺う。

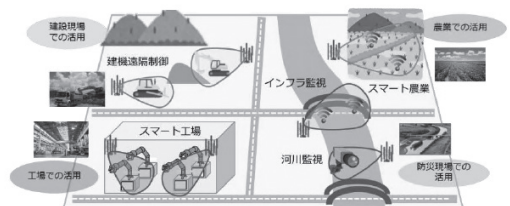
答1 市長 令和2年度一般会計
当初予算における普通建設
事業は約46億8,000万円で、歳出全体
の17.3%を占めており、県内14市の
平均値を上回っている。本市成長の
ため、スマートIC整備事業や産業
団地整備推進事業、義務教育学校整
備事業等、次世代へつなぐ事業に積
極的に取り組む。

問2-1 地域内での雇用促進等、企
業誘致戦略として、どのよ
うな産業を誘致していくのか。

答2-1 市長 下野市産業振興計画
に定める、自治医科大学附
属病院等医療機関との連携が可能な
高度医療、福祉、ヘルスケア、医療
機器産業等をはじめとした産業の誘
致を、県と連携を図りながら積極的
に進める。

問2-2 人口知能AIや、モノのイ
ンターネットIoTなどの
未来技術の活用について伺う。

答2-2 市長 未来技術の活用によ
り、農業経営の安定化や医
療福祉分野の高度化等に配慮する。
AI等情報システムにより、合理的
な行政運営が可能となることから、
スマート自治体への転換を図り、職
員が職員でなければならぬ業務に
注力できる環境づくりを推進してい
く。



地域課題の解決に資する5Gの活用



下野市民派クラブ
村尾光子 議員

【今回の質問】

1. 職員定員管理計画、次期計画は策定するのか
2. 図書館の行政・議会へのレファレンスサービス提供を
3. 多文化共生にどのように取り組むのか
4. 専決処分に当たっての基本的考え方を伺う

問1-1 第2次定員適正化計画は令和2年度で終了する。次期計画の策定方針を伺う。

答1-1 市長 総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略、行政改革大綱実施計画の取組を着実に推進するとともに、様々な社会制度の改正や経済状況の変化、市民ニーズの多様化などに敏感に対応した行政運営を行うことができる職員体制を構築することを基本的な方針とし、適正な職員数を定めたい。

問1-2 就職氷河期世代への採用についての配慮はどうか。

答1-2 市長 職員採用は、小山市、野木町、石橋地区消防組合と本市の4組織で、小山ブロックとして実施している。就職氷河期世代の採用については、ブロック内の組織と情報交換を行い、試験の実施や制度整備等について研究したい。

問1-3 常勤職員と会計年度任用職員の人員構成のバランスをどう考えるか。

答1-3 市長 今年度の職員数は目標値の390名に対し、382名となっている。令和2年度採用予定の会計年度任用職員は398名で、常勤職員とほぼ同数だが、事業実施のための必要人数を予定し、特にバランスを考慮したものではない。事業の実施方法等を見直しながら削減できるよう検討したい。

	H30	H31	H32
職員数(目標)	388	390	395
前年度未退職者(見込み)(*)	14	20	12
新規採用予定者	20	22	17
休職者等(*)	18	18	18
実勤務者数(*)	370	372	377
臨時・非常勤職員数	318	310	300

*各年度の退職者数は、見込みであるため、毎年、状況に応じ新規採用職員数を調整
*休職者等はH20年度からの平均値
*実勤務者数=職員数-休職者等数

臨時職員・非常勤職員は令和2年度から会計年度任用職員へ移行する。



一心会
伊藤陽一 議員

【今回の質問】

1. 防災・減災対策
2. コミュニティFMの効果的な活用及び運営

問1 災害時の行動について自助・互助・共助及び公助の観点から市の考え方を伺う。

答1 市長 自身の安全を守る行動を地域ぐるみで協力し合い支援する体制を整える。また自主防災組織の育成、強化に努める。防災機関や福祉・医療、民間等との連携による総合防災訓練の実施、自主防災組織に対する支援や自治会等への防災講話など啓発を行っている。また、広報手段の複数化については、FMゆうがおを有力な広報手段として活用し、災害時の情報提供の充実を図る。

問2-1 FMゆうがおの難聴地域の現状と対策を伺う。

答2-1 市長 昨年末に電波の強弱の測定調査を行い、市内30カ所全域において電波が弱いと確認した。1月には送信設備の再点検を行い、2月には出力の変更など放送

設備の条件を変えて調査を実施した。関東総合通信局にて調査を実施し、早急に原因を特定し改善する。

問2-2 災害時の情報発信として大きな役割を担うが、スマホのエリアメール等を活用しアプリへの誘導はできないか。

答2-2 総合政策部長 避難所の開設・河川情報等は、連携を図り放送を行う考えである。FMゆうがおで情報発信しているということをエリアメールでも周知したい。





奥田 勉 議員

【今回の質問】

1. 安全安心な道路環境整備

問1-1 伸びた枝や落葉など、道路植栽の管理状況を伺う。

答1-1 市長 街路樹等の整備は、交通安全、景観向上、生活環境保全の機能から街路樹が持つ機能を効果的に活用するため、積極的に進めている。今後とも安全、安心に道路をご利用いただけるよう、街路樹等の適正な維持管理に努めていく。

問1-2 道路に設置してある標識等の管理について伺う。

答1-2 市長 道路の保全や安全かつ円滑な道路交通の確保を目的として、主に道路管理者が設置している。標識やカーブミラー等は、歩行者や自転車等の通行に支障をきたす場合は、随時、再設置するなどの対応に努めていく。

問1-3 誰もが快適に移動できる道路環境整備について伺う。

答1-3 市長 歩道の段差解消、視覚障がい者誘導ブロックの設置や生活道路における歩道のない箇所での歩行者の安全確保に努める。また、通学路を対象にグリーンベルトの設置を行っていく。自転車専用レーンの整備計画については、既設道路の構造も考慮しながら、路線ごとに検討していく。



市内の街路樹



石川 信夫 議員

【今回の質問】

1. 中学校の歴史教科書

問 1 教科書は4年に一度見直しが行われており、複数ある教科書会社の中から、どの歴史教科書を学ぶかによって、子どもたちの人生観は大きく変わっていく。現在使用されている東京書籍の歴史教科書について、以下の点を伺う。

①歴史上の人物の取り上げ方について、東京書籍346名に対し育鵬社は436名、独立した人物コラム等も女性を含め、東京書籍14名に対し、育鵬社は63名である。

②南京事件の本文と脚注、従軍慰安婦を連想させる記述について、事実とは異なるものであると認識しているがいかがか。

答 1 教育長 ①について、東京書籍の人物の取り扱いが最もふさわしいので採択をした。歴史は人間によってつくられてきたものであり、その人物が活躍した時代背景や果たした役割、生き方、そして

その後の歴史の流れに関心を持たせる内容となっており、学習指導要領に^{かな}適っている。②について、多様な見解のある事柄であり、未確定な事柄を含むものであるため、一つの結論を出すより、冷静で理性的な議論をすることが大切である。東京書籍の歴史教科書、注の記述は学習指導要領に^{かな}適っている。





中村 節子 議員

【今回の質問】

1. 公園・小中学校での除草
2. 気候非常事態宣言(※)

※気候非常事態宣言・・・

地球温暖化対策に取り組む決意を示す宣言。世界では1,300を超える自治体が、日本でも17の自治体が宣言している。

問1-1 市内の公園の除草にグリホサート系農薬が使われている。その主要成分であるグリホサートはWHO(世界保健機関)により発がん性が指摘されている。世界的にグリホサート系農薬を禁止・規制する国が増えているが、市としてはどう考えるか。

答1-1 市長 内閣府の食品安全委員会は「発がん性や遺伝毒性は無い」としている。安価で効率的な管理のため、適正な使い方を指導しながら引き続き使用する。

問1-2 ベンチや遊具に薬剤が付着しないか心配している。また、看板の設置が不十分では、との声を聞く。対応してほしい。

答1-2 建設水道部長 散布の仕方や看板での注意喚起で対応したい。看板は大きな公園の場合、複数枚設置していく。

問1-3 学校での除草剤使用について伺う。

答1-3 教育長 長期休業中や夏などは除草剤を使うが、児童・生徒がいない時間帯を選び、無風・微風の時に使用する。散布後も安全対策をしている。

問2 気候非常事態宣言をする自治体が増えている。下野市でも、宣言してはどうか。

答2 市長 県と連携して、調査研究していく。



坂村 哲也 議員

【今回の質問】

1. 小中一貫教育による下野市の教育施策

学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。

問1-1 小中一貫教育のこれまでの成果と教育長の見解を伺う。

答1-1 教育長 小・中学生や教職員の交流による円滑な接続と、中学校への進学に対する不安の軽減に取り組んでいる。本格実施から11か月ではあるが、効果が上がっていると捉えている。

問1-2 南河内中学校区以外で進める施設分離型による一貫教育について、その課題は小・中学校の距離が離れていることによる学校間の連携の難しさである。それを克服するための具体的な方法を伺う。

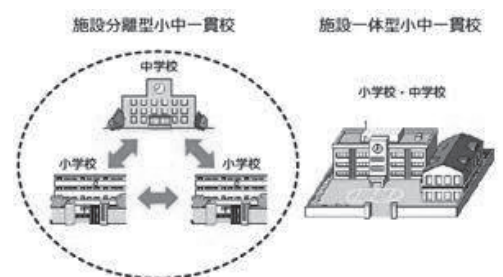
答1-2 教育長 小・中学校の教師がそれぞれの学校に出向く相互乗り入れ授業を行うことで、課題を克服することは可能である。

問1-3 学校運営協議会から提出された、意見や課題を解決するのは誰であるのか。

答1-3 教育長 教育委員会で即対応していく。

問1-4 南河内中学校区義務教育学校整備には、約46億円近くがかかる計画との報告であったが、一般財源はどのくらいかかるのか。

問1-4 教育次長 財源は、各種補助金が6億1,000万円、起債として29億7,700万円を予定している。財政的に優位な財源等を活用し、一般財源の負担が少ないように整備を進めていく。



小中一貫校の形態



相澤康男 議員

【今回の質問】

1. 子どものスポーツ活動支援等の方策

問1-1 下野市スポーツ推進計画を推進するにあたり、スポーツ振興のための指導員不足が見受けられる。養成等に力を入れるべきと考えるが見解を伺う。

答1-1 教育長 本市では現在スポーツ少年団が47団体登録され、各団体に所属する市の委託を受けた少年スポーツ指導員は令和元年度では91名いる。普及を担う指導員の確保に関しては、継続的に人材の発掘や育成を行う取組を検討していく必要があると考える。

問1-2 第12回栃木県小学生駅伝競走大会に本市チームは参加していない。この状況について見解を伺う。

答1-2 教育長 大会参加資格であるクラブチームでの参加が挙げられるので選手の募集など一定の部分で自治体に関わりチーム編成している自治体もある状況である。

市内の陸上クラブや、体育協会、陸上競技に関する専門的な団体の意見を聞きながら参加の方向で検討を行いたい。

市長 チーム下野という姿を見たい、子どもたちが自発的に出たい、それを我々がしっかりサポート出来る体制を作って、安心して試合に挑めるように教育長と共に向かっていきたい。



貝木幸男 議員

【今回の質問】

1. 車イス生活の障がい者の方の公共交通

問1 石橋、国分寺、南河内の3エリアに1台ずつデマンドバスがあり、自宅からエリア内はもちろん、乗り継ぎをすれば下野市内どこへも片道(1回)300円で行けるが、車イスの対応がないため、車イスの障がいの方は利用することができない。その代りに福祉タクシーの初乗り分の無料券を配布しているが、それ以上は実費となり、デマンドバス利用者とは年間の回数制限も1回ごとの実費も差がありすぎ不公平だと思うが改善されないのか。

答1 市長 福祉タクシー券の配布枚数は、H30年度は2万144枚で実際に利用された枚数は8,378枚、助成額は609万1,480円で国、県からの補助制度はなく一般財源で実施しているため、他の市町とも一律の補助率ではなく、交付枚数や助成額など当該市町の状況に応じて事業を実施している。今後車イスをお使い

の方の状況を含め、障がいの種別等による利用状況を調査し、今後の福祉タクシー事業の実施方法について検討する必要があると考えている。利用者が不公平感を抱くことのないよう近隣市町の動向も踏まえながら検討していきたい。さらに下野市地域交通会議においても、車イスをお使いの障がいのある方が利用できる方法を検討していきたい。



デマンドバス おでかけ号



磯辺香代 議員

【今回の質問】

1. 公金詐取事件における超過勤務手当水増し分について
2. 水切りネット・雑紙収集袋配布の施策背景

問2-1 自治会加入世帯に生ごみ水切りネットと雑紙収集袋が配布された。施策の背景を伺う。

答2-1 市長 小山広域保健衛生組合管内の燃やすごみが増加傾向で、現在計画の中の新焼却施設の処理能力では対応できないことが危惧され、組合全体の重要課題となっている。ごみの組成調査から、水分を多く含んだ状態の生ごみが約40%、分別すれば資源化できる紙類が約15%あり、生ごみの水切りや紙類の資源化に取り組んでいただくきっかけになればと配布した。

問2-2 施策の意図が市民に伝わっていない。ごみの削減目標等はあるのか。

答2-2 市民生活部長 家庭系可燃ごみ排出量1人1日当たり400gを小山広域管内の統一目標としている。下野市の平成30年度1人1日当たり排出量は460gなので、60g

減量のPRを進めたい。

問2-3 新聞紙上に有料指定ごみ袋の導入も有り得るとあった。

答2-3 市民生活部長 燃やすごみの減量が進まない場合のことであり決定ではない。そうならないようにPRに努め減量を進めたい。

問2-4 今回のごみ関連用品配布の効果について検証されたい。

答2-4 市長 四半期ごとに排出データをお知らせしたい。



配布された水切りネットと雑紙収集袋

新型コロナウイルスへの対応について

各常任委員会においても、新型コロナウイルス感染症対策について協議されました。臨時休校に伴う学童保育への対応、非接触型体温計・マスクやせっけん等の備蓄の充実、経営に影響が出てくる中小事業者への支援策、市内行事への影響等、多くの課題が出されました。それぞれの委員会が担当する所管は異なりますが、新型コロナウイルスによる市民への影響を把握し、現在講じている対策と今後の状況を的確に捉えて対応していくことを市執行部に要望しました。

今後も、市執行部と議会が一丸となり、市民の皆様の安全・安心を第一に考え、最善を尽くしてまいります。

そなエリア東京(東京臨海広域防災公園)を視察

1月9日

東京臨海広域防災公園は、国の災害応急対策の拠点として整備された6.7haの国営公園、6.5haの都立公園の計13.2haの広域防災公園で、その中の防災体験学習施設「そなエリア東京」に議員17名で視察研修を行いました。

首都直下型地震が発生した場合、72時間をどう生き抜いていけるのか、クイズや再現被災市街地での危険箇所確認を通して、「外出先で地震にあったら?」「自分の住むまちで地震があったら?」という2つのシナリオでツアー体験をすることができ、再現避難場所ではAR(拡張現実)と連動した実物展示で体験することで、緊急時をどう生き抜くかを学びました。

また、首都直下型地震が複数箇所を震源とした場合、下野市でも最大級の震災になる恐れがあることがわかりました。



再現被災市街地を、タブレット端末を使って学習しながら進みます

(1) 市民活動センターについて 島田市（静岡県）1月27日

下野市において、令和2年度より基本計画の策定が始まり、令和4年度開設予定となる「市民活動センター」の先進地視察を行いました。

静岡県島田市は「島田市をもっと住みやすいまちにしたい」「安心して暮らせるまちにしたい」を基本理念とし、「しまだ市民活動センター」を設置しています。登録団体は、法人やサークルなど100あまりですが、集っている一人一人が基本理念を理解し、自分たちは何をしなければならないかを考え行動をしています。

運営は市から委託を受けた「NPO法人クロスメディアしまだ」が行っており、人口減少の進む島田市において、コミュニティづくりがとても大切であるという観点から、市民活動を積極的に支援しています。また、活動内容を周知するため情報誌5万部を発行しています。



行政視察のようす

(2) コミュニティFMの活用について 三島市（静岡県）1月28日

昨年12月に開局したFMゆうがおの認知度や魅力度を向上させるため、先進地、静岡県三島市を視察しました。

三嶋大社の門前町として栄えているこのまちでは平成9年6月からFM放送が始まりました。運営は「株式会社エフエムみしま・かなみ（ボイス・キュー）」が行っており、三島市は筆頭株主です。放送局は市の災害対策本部を設置する防災センター内にあり、災害時には即時情報発信できる体制となっており、市民は防災ラジオを1台1,000円で購入しています。番組は朝5時から始まり、1日3人ほどのパーソナリティが交替で務めています。市民の6割以上が「毎日」「時々」聞くということですが、聞く場所は「車内」という人が多く、車が使えなくなるような大規模災害発生時にはどうかという課題もあります。

薬師寺保育園保護者の皆さんと意見交換会を実施 教育福祉常任委員会

薬師寺保育園は令和元年度から民営化されました。市内で初めて民営化された保育園です。

「自由参加のイベントが増えた」「延長保育、土曜保育、早退などの予約がネットでできるようになったので便利」「小学校に入学する前に体操や鍵盤ハーモニカを教えてもらい、準備ができた」など、和やかな雰囲気の中で、保護者の方から沢山のご意見をいただきました。

そのほか、下野市の課題として「重度障がい児のための支援センターが市内にない」「ママ・パパリフレッシュ事業で改善してほしい点がある」なども挙げられました。

市では今後2つの保育園の民営化を進めています。この懇談会で出た意見を活かしていきたいと思えます。課題点については後日、市執行部に伝えました。

1月16日



意見交換会のようす

議 会 の 動 き

2月

- 4日 議員全員協議会・議員研修
宮城県大崎市議会会派行政視察来庁
～公共交通について～
- 6日 総務常任委員会
- 10日 教育福祉常任委員会
- 13日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 14日 議会だより編集委員会
- 20日～3月13日 第1回定例会
- 27日 議会運営委員会

3月

- 11日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 12日 小山広域保健衛生組合議会定例会
- 17日 議会だより編集委員会
- 23日 石橋地区消防組合議会定例会

4月

- 3日 議会だより編集委員会・議会活性化特別委員会
- 16日 議員全員協議会
- 17日 議会だより編集委員会
- 22日 議会だより編集委員会
- 24日 議会運営委員会・会派代表者会議

議会活性化特別委員会 中間報告

議会活性化特別委員会は、平成30年第2回定例会において、議会運営の効率化や議会活性化に向けた調査・研究を目的に設置されました。これまで12回の委員会と2回の議員全体研修を開催し、議長からの諮問事項及び調査・検討を進める中で新たに課題となったものについて検討を進めてきました。これまでの経過及び結果について中間報告いたします。



報告を行う石田委員長

1. 議会運営の改革について

市長の施政方針や新年度予算大綱等に関する質疑・質問は、一般質問に反映することができるよう令和2年第1回定例会から資料の事前提供を受けることを執行部と確認しました。

2. 議員研修のあり方について

議員研修及び講演会は、年間計画に基づき開催し、緊急時の案件は議会運営委員会で開催を決定することとしました。

3. 委員会の活動及び調査研究のあり方について

市民意見の中から執行部へ提出する意見と、議会で調査研究する意見を分けて、政策提言に繋げる政策形成基本フローを作成しました。任期中に結論に至らなかったテーマについては議長を通して、次期の委員会に報告を行うこととしました。

今後は、議会基本条例の検証や本会議のライブ中継、議員報酬、政務活動費等について、協議・検討を進めてまいります。

第2回定例会 (6月議会) の予定

※会議の予定は変更になることがあります。
※日程が決定次第、議会ホームページでお知らせいたします。

日	月	火	水	木	金	土
5月24日	25	26	27	28 議会運営委員会	29	30
31	6月1日	2	3	4 本会議 (開会)	5 一般質問	6
7	8 本会議 (一般質問)	9	10	11 常任委員会	12	13
14	15	16	17	18 本会議(閉会) 議会だより編集委員会	19	20

編集後記

風薫る季節になりましたが、コロナウイルスの感染が広がりが心配な日々が続いています。

選挙後、新しいメンバーでスタートした議会だより編集委員会は2年がたち、このメンバーでの最後の号となりました。

2年間でいくつか新しい試みができました。①モニター制度として、市内の9人の方から発行ごとにご意見をいただいています。②議会だよりのとじ方を市の広報と同じ、左とじにしました。③市内在住の写真家、荒畑恵子さんの写真を表紙にしました(第50号)。④分かりやすい、やさしい言葉を使うようにしました。堅いイメージのある議会だよりを少しでも身近に感じていただければと思います。

文字ばなれが進む世の中ですが、読んでいただけるように今後とも努力をしていきたいと思っております。
(中村節子)



議会だより編集委員会

委員長 中村 節子
副委員長 大島 昌弘
委員 坂村 哲也 五戸 豊弘
石川 信夫 相澤 康男

※次号 (No.57) は 8月15日 に発行します

今号の題字：細谷小学校 5年 高山 華凜さん

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて下野市議会だよりの音訳CDを貸し出しています。 電話：0285(43)1236